

令和4年度 第1回島田市立学校給食センター運営委員会会議録

- ・日 時 令和4年6月27日（月） 午後3時～3時53分
- ・会 場 中部学校給食センター研修室
- ・出席委員 植田百代会長、小島育乃副会長、濱尾孝徳副会長、柳川正明委員、高杉陽子委員、加藤大樹委員、上田陽子委員、田中恵美委員、天野順司委員、長坂幸二委員、池ヶ谷俊幸委員、木原正和委員、
- ・事務局 山中教育長、中野教育部長、村田学校教育課長、天野学校給食課長、野末主任栄養士、池谷主査、田村主査、家田課長補佐

（議事内容）

1. 開会（司会）

司会より、委員12人中 12人出席しているため、島田市立学校給食センター運営委員会の会議の成立を報告する。

3. 挨拶（教育長）

みなさん、こんにちは。お忙しいなか当委員会に出席いただきましてありがとうございます。先日学校で給食試食会を行いました。子供達の配膳の様子等を見させていただきました。地産地消をすすめているということで、本日もいらしていただいておりますが、新鮮なものを納めていただきありがとうございます。学校におきましてはコロナ禍ということで、手洗い、黙食をおねがいしておりますが、以前のように楽しく給食をとるところまでいっておりませんが、これからマスクをはずして楽しく給食を取れたらいいなと思っております。あわせて最近の物価高騰にあわせて物が値上がりしております。6月の議会においても給食費の値上げが心配との質問が出ましたが、本市においては給食費の値上げは考えておりません。原材料の高騰にあわせて、値上がり分をコロナ臨時交付金で手当していきたいと思っております。それによって給食費を値上げせずに必要な量の維持をしていきたいと考えております。教育委員会としましては、子供達の給食の安全安心を心掛けながら努力してまいりますので、ご理解のうえご支援をお願いいたします。本日の運営委員会の案件については、昨年度の事業報告と今年度の事業計画が主な案件となります。今年度の給食が順調に運営できますように皆様のご協力として活発な意見をお願いいたします。

4. 会長及び副会長の選出

会長に、島田第二中学校保護者代表 植田百代様、副会長に大津小学校校長 小島育乃様、川根中学校 教頭濱尾孝徳様を選出した。

5. 新会長挨拶

運営委員会規約第5条第4項の規定により、これ以降会長が議長を務めた。

6. 説明・報告事項

(1) 令和3年度学校給食事業の実施状況について事務局より説明

事務局

最初に、この会であります学校給食センター運営委員会の組織及び業務等について説明いたします。

島田市では、島田市立学校給食センター条例を定めております。1ページになりますが、第5条、センターの適正かつ円滑な運営を図るため、島田市立学校給食センター運営委員会を置くとなっております。これを受けまして、次のページにあります島田市立学校給食センター運営委員会規則が定められております。運営委員会の所掌事務としまして、第2条になりますが、学校給食センター運営の基本方針に関する事、学校給食の栄養指導及び栄養改善に関する事等を審議していただきます。委員には、学識経験者、市立小中学校の保護者代表、小学校長、中学校長、そのほか、教育委員会が必要と認める者として生産者の代表、教頭会代表により委員会が組織されています。任期は令和5年3月31日までとなります。これから1年弱ですが、よろしく申し上げます。

それでは「令和3年度学校給食事業の実施状況について、ご説明いたします。資料4ページをご覧ください。令和3年度事業を一覧にさせていただきます。定例的な事業といたしまして、保護者様や学校の先生がたにもご参加いただき、給食の食材を決める物資選定会や献立会議等を行っております。臨時的な事業としましては、オリンピックがございましたので、6月7月にホストタウンであったモンゴル・シンガポールの料理を提供いたしました。また、1月の学校給食週間では昨年度に引き続き島田産醤油を商工会議所より寄附いただき、「島田さくらめし」の提供を行いました。主だった事業についてはこの後に事業ごとに説明をさせていただきます。

令和3年度学校給食残食率について報告します。令和3年度3月末までの小学校の残食率平均は、6.50%、中学校は5.26%、小中併せた平均が、6.05%となっております。

次に6ページをご覧ください。島田市学校給食における地産地消の推移について報告します。令和4年3月末までの島田産の品目割合は、37.5%、重量割合は、27.31%となります。

昨年度は、島田産米の不作により重量が減少しております。次の7ページに詳細が載っています。令和2年度に比べて、島田産の品目としては人参が増加しました。詳細はご覧ください。毎月の詳細な納入量については、8ページをご覧ください。

次の9ページをご覧ください。昨年度もコロナウイルス感染拡大の影響を受け、実施を取りやめたものがありました。実施したものは、学校給食市民試食会を6月に南部学校給食センターで29名の参加、11月に中部学校給食センター実施し30名の参加がありました。

7月27日に夏休み学校給食センター施設見学会を実施し19組42名の参加がありました。

生産者の学校訪問ができない為、生産の様子を収めたDVDを3本作製し、食育の授業にて使用していただきました。

次に、食物アレルギー対応食の報告をします。10ページをご覧ください。

対象品目は、卵、乳製品、エビ、カニ、イカ、タコ、そば、ピーナッツの8品目の除去でおかずのみ提供しました。

対象者ですが、中部給食センターで46人、南部給食センターで21人に提供をしました。

詳細は資料をご覧くださいと思います。

続きまして、11ページ島田市学校給食費の徴収状況についてご説明いたします。1. 現年度学校給食費徴収状況につきましては、収納率は100%となりました。初めてのことかと思えます。これは学校、市事務職員が頑張って徴収していただいた結果でございます。皆様のご協力に感謝いたします。2. 過年度分学校給食費徴収状況につきましては、令和3年度につきましては調定額774,362円、収入済額204,545円、不納欠損が348,708円、収納率は26.48%です。

3. 過年度の納付内訳ですが、全額を納付いただいた世帯は5世帯、一部を納付した世帯は3件で、この内1件は本日までに完納しております。1件は分納中で毎月支払いをしています。もう1件は在学中なので、継続して徴収業務に努めてまいります。不納欠損については、1世帯、90件、一月分を1件として計算してありますが、島田市から県外に転居しており、転居先にも行きましたが、接触が出来なかった案件で回収の見込みもないことから、不納欠損をしました。年度中に納付を行わなかった世帯は2世帯で、1件は今月お支払いいただき完納いたしました。残る1件は、市内在住で接触もできたのですが、納付に結びつかず、継続して徴収業務に努めてまいります。

13ページをご覧ください。令和3年度南部学校給食センターの機器更新、工事についてです。機器更新については、株式会社中松より4730万円で備品を購入しております。内容については昇降式消毒保管機6台、こちらは調理器具の乾燥や殺菌、保管をする機器です。カートイン蒸し機が2台、こちらはシュウマイ、蒸し野菜、茶碗蒸しなどを作る機械です。消毒保管庫が4台、料理道具カゴとかザル、食器を乾燥保管する機械です。

粉碎ポンプ流し台・調整タンクが1台、野菜の切りくず等を粉碎して脱水機に送る機械です。蒸気回転釜が1台、野菜のボイル、和え物を調理する機械です。続きまして工事ですが、南部学校給食センター給排水管等取替工事、株式会社太田に1,592万3600円で発注しました。内容は地下ピット内にある給排水管の取替とボイラー室内にある蒸気管の取替になります。以上です。

14ページをご覧ください。昨年10月29日金曜日に相賀小学校の米飯にアルミ金属片の危険異物の混入がございました。報道にも発表させていただきました事案についてご報告させていただきます。発生場所は相賀小学校でございます。3・4年の複式学級教室内で、職員により配膳された米飯の上に、女子児童が異物に気づきました。喫食前であったため、健康被害の報告はありませんでした。なお、この異物以外には特に見つかっておりません。学校給食課で異物を確認したところ、磁石に付かないことから、アルミ金属片ではないかと判断いたしました。大きさはカッコ内に書いてあるとおりです。調査等の対応です。学校給食課が米飯製造事業者に対し異物混入原因について調査した結果、アルミ鋳物炊飯釜の内側上部の角に生じた傷から落ちたアルミ金属片と判明しました。即時に混入の特定とアルミ鋳物炊飯釜の点検・修繕を指示いたしました。また、米飯の契約会社である公益財団法人静岡県学校給食会と学校給食課が米飯製造工場への査察を実施し、調査及び指導を行いました。再発防止策でございますが、米飯製造事業者は即日にアルミ鋳物炊飯釜の総点検をし、傷があるものは綺麗に削り落とす修理を実施しました。今後はアルミ鋳物炊飯釜の目視点検と手による触手点検を使用前と使用後に実施することで再発防止策をとっております。

続きまして本日机の上に用意させていただきました令和3年度学校給食異物混入状況について報告します。1. 危険異物1件、2. 虫とか毛髪等の普通異物でございますが、①件数及び年間調理食数の異物混入割合について主食、副食、その他、その他はデザート、牛乳の区分、中部、南部と区分して表示させていただきました。合計で、76回異物混入がありました。1,490,341食 1年間の食数でございますが、そのうち0.005%となります。②異物混入の内訳でございます。食物由来、髪の毛、虫、その他と区分させていただきます、食物由来が28件、毛髪が24件、虫10件、その他14件合計76件となっております。

議長

委員の皆さまからご意見、ご質問はございますか。

委員

特になし

議長

次に（２）令和４年度学校給食事業計画について説明を事務局よりお願いします。

事務局

資料は 15 ページをご覧ください。令和４年度学校給食事業計画についてご説明します。①基本方針ですが、学校給食センターの衛生管理の徹底と施設設備の適切な維持管理により安全安心な学校給食の提供を目指すとともに学校給食の充実及び学校における児童生徒への食育指導に努めます。

具体的な取組みの方法としては、カタカナ表記のところを説明させていただきます。アとして安全安心な学校給食の提供するため、国が定める学校給食衛生管理基準に基づき調理業務等の衛生管理を徹底していきます。

イとして年間一校あたり 183 回実施する学校給食をはじめ、食育や市民啓発を行います。ウとしまして、食物アレルギーを有する児童生徒が他の児童生徒と同様に給食を安全においしく食べられるようアレルギー対応食を提供します。エとして、国の第４次食育推進基本計画や第３次島田市食育推進計画等を踏まえ、次に掲げる数値目標の達成を目指します。島田市産農産物の使用割合を金額ベースで 56.2%、重量ベースで 40% 以上を、給食残食率 4% 以下を目指していきます。

オとして、地産地消推進事業は、生産者の顔の見える学校給食の提供を行っていきます。16 ページです。カとしてセンターの調理用備品等の更新を計画的に進めます。キとして職員の資質向上に関する事業を行ってまいります。クとして学校給食費の未納について、各学校と連携して、未納の解消に努めます。ケとして、学校給食への民間活力の導入を図り、学校給食センターにおける運営の合理化を推進します。具体的には各担当より説明させていただきます。

続きまして 17 ページをご覧ください。令和４年度学校給食献立年間計画についてご説明します。各月目標に沿って、季節や行事に即した献立を作成していきます。地場産物や旬の食材を多く取り入れ、郷土料理等も織り交ぜながら、また、児童生徒の作成した献立もメニューに入れていきます。

次に 18 ページをご覧ください。令和４年度の給食時間における年間指導計画について、ですが、左側の部分が、学校で指導いただく内容でございます。それに加えて、右側部分になりますが、学校給食センターで、給食時間における年間計画をたてて栄養教諭が食に関する指導を行っていきます、学校給食を生きた教材として食育を推進していきます。

続いて 19 ページになります。2. 食事内容ですが、主食はパンが週 1 回程度、米飯が週 3.5 回、麺類が月 2 回程度としております。21 ページの島田市学校給食栄養摂取基準を確保できるように献立を作成しております。

22 ページをご覧ください。

令和 4 年度の学校給食普及事業になります。

今年度開催予定であった親子料理教室は中止となりました。学校給食市民試食会は 6 月 28・29 日に南部学校給食センターで開催し、参加者は 25 名の予定です。中部給食センターで 11 月に実施をする予定です。ふるさと給食週間試食会として、市長及び市関係者の試食会を 6 月 23 日に島田第三小学校と初倉南小学校で開催しました。例年よりも参加人数を減らし 8 名と 9 名の参加とし、コロナ禍での授業の様子や給食の様子を見ていただきました。

次に、生産者の学校訪問ですが、コロナ禍のため中止とし、その代わりに、生産者の動画撮影を実施し、その動画を使用し、児童生徒に地場産物について啓発していくこととしました。

次に、夏休みに学校給食センター施設見学会ですが、7 月 29 日に中部学校給食センターで実施を予定し 20 組募集します。7 月 1 日から募集を開始します。

24 ページをご覧ください。食物アレルギー対応食の実施についてお話させていただきます。

対象者は、卵、乳、エビ、かに、イカ、たこの 6 品目のアレルギーを有している児童生徒で、6 品目以外のアレルギーを有していても除去食の対象者となります。

昨年度の 12～2 月の間に保護者・学校・給食センターの 3 者が入ってのアレルギー面談を進めてきました。面談の実施人数は 51 名実施しました。今年度の提供人数は、中部で 32 人、南部で 11 人となっています。新規の児童生徒については、5 月のゴールデンウィーク明けから除去食の提供を実施しています。

議長

委員の皆さまからご意見、ご質問はございますか。

委員

22 ページのふるさと給食週間試食会に参加しました。その時に給食センターの方から説明があつて、地域の〇〇さんと子供達の知っている農家さんからの野菜が直接給食センターに届けられて食べているとの話を聞きました。池ヶ谷委員は何を生産されていますか。

池ヶ谷委員

みかんです。

委員

神座のみかんですか。

池ヶ谷委員

そうです。

委員

家庭教育学級ですが、どの学校の家庭教育学級でも、配膳の様子を見学することを講座と一緒につけることが多いのですが、保護者の方はどんなものがどのように食べたり、配膳したりするのか興味があって、なかなか子供と触れ合いことができないなかでも興味があるのだなと感じました。

議長

他にご質問等がございますか。

ないようですので次に進みます。

議長

次に（３）令和４年度学校給食費の額について事務局から説明をお願いします。

事務局

25ページをご覧ください。令和４年度学校給食費の額についてです。小学校 一食 274円 月額 4,558円で11ヶ月徴収、中学校は一食 327円 月額5,440円11ヶ月徴収で、すでに行っております。令和３年度と同額となっております。

議長

事務局からの説明につきまして委員の皆さまからご意見、ご質問はございますか。

委員

15 ページの具体的な取組等のエで、給食残食率４％以下をどうして設定されたのか教えて下さい。

事務局

残食率ですが、コロナ禍になって残食率が非常に高くなっております。４％以下という

のはその以前に立てた目標でありまして、3年前位、コロナ禍の前の年までは4%前後で推移しておりました。その時点で4%以下と目標値を定めております。ただ、コロナ禍になってどうしても残食が多くなっていることは把握しておりますので、今後この目標についてもこのままいくか検討していかなければならないのかと考えております。

委員

給食費の値上げは考えていないというお話でありがたいことだと思います。しかしながら物価が高騰しており、原材料があがっているとの現状で、いつまで維持できるのか心配ですし、コロナ交付金でとの話がありましたが、コロナ交付金が給食費に使用できるのか知識がございませんので、説明いただければと思います。

事務局

ここ2・3年の間、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金がありまして、市内でコロナ感染対応の様々な事業をやってまいりました。本年4月に交付金のなかに原油価格、物価高騰分の対応がありまして食材が高騰して本来なら学校給食費を上げなければならないが、物価高騰分を補填する形で、給食費は上げずに保護者負担を軽減させるものが対象となりました。現在島田市で考えていることは物価高騰分をコロナ交付金で補填していくということで、給食費は上げない予定です。

議長

その他ございますか。
ないですので事務局からその他ございますか。

事務局

今回皆様に委員のご依頼をした際に、委員会の回数について6月～7月に1回、3月に1回、2回の予定をお伝えしてありますが、今年度については、9月～11月位にもう1回開催したいと考えております。できればその時には、皆さんに給食を試食していただいて、給食へのご意見等をいただければと考えておりますので、日程は会長と相談のうえ決定して、皆様にご連絡させていただきます。

議長

以上で議事は全て終了となります。皆様熱心にご協議いただきましてありがとうございました。それでは進行を事務局に渡します。

事務局

植田会長、委員の皆様どうもありがとうございました。

以上をもちまして令和4年度第1回島田市立学校給食センター運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。